



「活きていることわざ」

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】船橋市前原西8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117

Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroei.jp>

茶番 (ちゃばん) 。濡 (ぬ) れぬ先の傘 (かさ)

【茶番】◇底の見え透いた、馬鹿げた行為のこと。

・「茶番」は、もともと、手近な道具を用いて行う滑稽(こっかい)な寸劇や話芸のことをいう。

【濡れぬ先の傘】◇失敗のないようにあらかじめしっかりと準備をしておくことのとえ。

・雨に降られる前に、傘を用意しておく、という意から。

暑い残暑も秋分の日を境に涼しくなり、いつしか道路に落ち葉が舞う季節になってきました。船橋市議会が9月29日に閉会しました。国会も30日に臨時国会が閉会し暫しの秋休みとなりました。

私が所属する文教委員会は10月5・6日に徳島市と加古川市に視察に行ってきます。5つある委員会すべてが10月に各地に1泊2日の視察に行きます。一方、国でも5日から議院運営委員会がウクライナのチェルノブイリの原発を視察するほか、予算委員会は1～7日にギリシャ・フランスを歴訪するなど、各委員会が世界各国を視察に訪れます。



船橋市議会では、年度始めに委員会視察の経費を予算に組み入れます。要するに税金で視察に行くのです。国会のことは知りませんが、やはり同様と思います。

視察の効用は否定しませんが、何故みんな遠くに行くのでしょうか。もちろん他にも日帰りの視察もあります。原則、委員会の視察は公費で賄われます。市民から「視察は言い訳で旅行だ」と揶揄(や)されます。公費で視察に行く私には言う資格はないかも知れませんが「中(中)ならずと雖(い)んども遠からず」と思っています。

厳しい
チェックを



国会だって「臨時国会を延長しろ」と言いながら、裏では話がついているように思われます。何故なら、我々の視察でさえ相手市との調整をして随分前に決定しているのですから、外国視察は相手国の受け入れができなければ出来ませんので、我々よりもっと早く日程が決まっているはずですから『茶番』そのものと思います。まして今年は、あの東日本大震災で苦しんでいる人がまだ大勢います。

ことここに至っては、必ずや実のある視察にすべきだし、多額の税金を無駄にしないように努めますし、努めて欲しいと願うのみです。皆様の厳しいチェックをお願いいたします。

現実に戻りまして、船橋市議会の第3回定例会は、前号に掲載した「飯山満駅前の保育所用地購入費」などを含む7億3千万円の補正予算や他市に先駆けた「船橋市債

権管理条例」など18議案を承認、陳情や議員提出の発議案などを審議し採択したり不採択して閉会しました。今号は会派代表で行った議案質疑について掲載します。

三番瀬海浜公園災害復旧事業について

市川市境に近い所にある海浜公園は、今回の東日本大震災により甚大な被害を受けました。潮干狩り場、プール、野球場、テニスコートは全く使用できない状態です。今回の補正予算は、2億3300万円で駐車場の復旧をするものです。

まず「潮干狩りも出来ず、プールも壊れたまま、野球場やテニスコートも使えないのに、悪いとは思わないが何故駐車場の復旧が先なのか」伺いました。

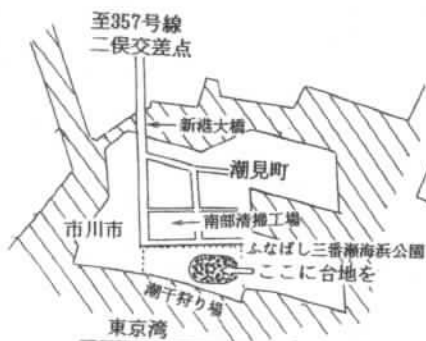


さらに、奇想天外みたいですが船橋市にとって重要な提案をしました。

今回の東日本大震災で船橋沿岸には2.4mの津波が押し寄せてきました。幸いにも津波による被害の報告はなかったのですが、今後、これを超える大津波が襲来するかも知れません。

その時に備えて、抵抗のある方もいるかも知れませんが、壊れて莫大な修復費が見込まれるプールの修復を諦めて、ここに大津波除けの「20mの台地」を造ることを提案しました。仙台市を視察してこれ位の高さがあれば大津波による被害は避けられると確信しています。

この海浜公園周辺には、南部清掃工場や民間の工場もあります。潮干狩り場や野球場・テニスコートが改修されれば、多くの市民や近隣の方々に溢れます。しかし、この海浜公園へは、国道357号線から新港大橋という橋が1本しかありません。イザという時には大混乱し逃げ切れません。そんな場合に駆け込む台地を造ることを提案しました。



このプールの周辺敷地は19,440㎡あります。単純計算すると約50万m³の土が必要となります。これを購入すると5億円になりますが、

残土として受け入れると逆に5億円の収入となります。重機や人件費など必要経費を30%としても3億5千万円の利益となります。このお金で台地の上に公共施設を造ったり、遊具を置いた公園にするのです。1万人以上の避難場所になります。『濡れぬ先の傘』の名案と思うがどうか、と聞きました。

— 経済部長の答弁 —

駐車場の復旧は、人工海浜での自然観察や野鳥観察などの市民要望があり、最低限必要となる駐車場、園路、便所などの改修工事を優先したものです。

また、壊れたプールの復旧を諦めて20mの台地を築いて避難場所との提言については、現在、庁内の検討会で、今後の流水プールの在り方を検討中です。年間7～11万人が利用してきたレジャー施設であり、また敷地が県企業庁から借用した土地であることなど、様々な視点から議員のご提言も含めて慎重に検討してまいります。